

RETENTION PLUS

Retention Plus (リテンション・プラス) は、四つのR (リテンション、リクラメーション、リバイバルとリフォーメーション) に関する記事やニュースを通して支部内の各教会のために、リテンション・プロジェクト・コーディネーターや牧師たちを力づけることを目指しています。間近なイエスの再臨に対して教会員を備えをさせ、具体的な行動へかきたてるよう、読者を目覚めさせ励ますことを願っています

Retention&Reclamation Committee Members

Chairman

Jairyoung, Lee

Secretary

Fukui Teru

Members

Barbara Choi
David Ripley
Lynn Ripley
Kwon Johnghaeng
Joo MinHo
Han SukHee
Kim SiYoung

Main Editor

Fukui Teru

Assistants

Oh MyoungSook
Kim MinKyung

何故、青年たちは教会を去って行くのか？ (1)

教会の健康状態は、その教会の平均年齢の若さによって測ることが可能です。2013年の支部年次委員会の総務報告によりますと、北アジア太平洋支部のアドベンチスト教会員の平均年齢は、50歳(JUC:57, KUC:49, TWC:47, HKMC:47, MM:35)です。少ない青年たちのバプテスマ、また青年たちが教会に来ることに興味を失ったこと、が教会の老い行く大きな原因かも知れません。

青年は教会の将来です。もし、教会が若い人々獲得する関心を失ってしまったら、二十年のうちにその教会は衰弱してしまうでしょう。サタンは教会成長において、誰が重要であるか知っているのです。だからこそ、彼は若い人々が教会に出席しないように、また現存する教会に参加するのをやめるように誘惑しようと凄まじい努力をしています。興味深いことに、紀元前605年、新バビロニア帝国の兵士たちがユダヤを激しく攻撃したとき、最初の目標は青年たちを殺すことでした。聖書は言っています、「そこで主はカルデヤびとの王を彼らに攻めこさせられたので、彼はその聖所の家でつぎをもって若者たちを殺し、若者をも、処女をも、老人をも、しらがの者をもあわれまなかった。主は彼らをことごとく彼の手に渡された。」(歴代下、36:17)

一般的に、教会は青年たちにあまり注意を払いません。彼らは大人たちのように定期的に仕えや月毎の献金をささげる生産的な人々ではなく消費する人々ですから。つまり、教会は沢山のエネルギーと資金を教会の青年たちを育てるために投資しなくてはなりません。ですので、機械的に教会は、その働きが大人たち中心になってしまいかねません。

1523人のアドベンチスト青年を対象とした調査によると、40%の教会の青年たちは、その信仰生活の5年以内に教会を離れていました。彼らが教会を離れた大きな理由は次のようなものでした：

1. 大人の教会員はインチキの生活をしている。
2. 教会は大して重要でないものを大事にしすぎている。
3. 年取った信徒の態度は、批判的で思いやりのない。

4. 教会の指導者たちは、組織に心を奪われ、人々に関心がない。
5. 礼拝の儀式はおもしろくなく、つまらない。
6. 偽善者になりたくない。
7. 教会はあまりに制限的だ。
8. 別の生き方に魅力を感じる。
9. 教会に本当の友人が一人もいない。
10. 教会は私が自分のことを考えるのを許さない。(Ministry, June 2002)

教会に友人がいないことが教会を去る理由となる一方、普通両親と子供たちの関係は若い人々の宗教的生活に悪影響を与えます。

もし、私たちが病気の原因を知っていれば、治療の方法が分かるかも知れません。教会の青年に関する課題と取り組む時、関係の重要性を過小評価することはできません。教会においても、家庭においても関係が、青年たちを引き止め、取り戻すための重要な要素です。

二年前のこと、私が祈禱院(Adventist Training Center)で働いていたとき、二人の女性が我が家を尋ねてきました。自分たちの信仰や教会生活を話しているとき、一人の人が自分の経験を私に話してくれました。大きな町で仕事を見つけた後、沢山の若い人がいる大きな教会を選びました。教会はとても大きくて自分のことを知られずに済みました。数ヶ月の間は、それが気楽でした。教会の礼拝を休んでも、誰も気付きませんし電話もありません。ついに、教会は自分なんか必要ないんだと感じました。彼女は教会を離れ、別の教会に移りました。

若い人が教会に来るのをやめた後、最初の6週間が彼らを取り戻すための重要な時期です。ロジャー・ダッドレーの研究によれば、教会来るのをやめた後、若い人たちのたった15%しか、教会員の電話や訪問を受けていません。良い関係が青年たちを教会に留める原因ですが、一方関係が途切れることが彼らを失う深刻な原因です。

NSD、支部総理補佐、
リーダーシップ開発、
ジュー・ミンホー博士



Northern Asia-Pacific Division
of General Conference

P. O. Box 43. Goyang Ilsan,
410-600, Republic of Korea
Tel: 82-31-910-1500
Fax: 82-31-919-4412
Email: tfkui@nsdadventist.org

リバイバル、改革、リテンション、そして長期欠席者回復の成功と失敗を決める各個教会の文化の力



デイビッド・リプリー
牧師会会長
北アジア太平洋支部

私は、ある教会の理事会で議論に耳を傾けていました。理事たちは、大きな買い物をしようとしていました。新しい視聴覚の機器のために、230万円も掛けるべきでしょうか。現在の機器は立派に動いています。でも、新しい技術や機能はきっと、礼拝のとき教会員たちの役に立つにと思われました。この時点で、教会にはどれくらいお金が口座にあるのか、会計さんに尋ねました。約250万円残高があるということです。理事たちは喜びました。新しい機器を買っても、幾らか銀行の口座に残しておくことができます。

牧師は、疑義をはさんで尋ねました。「もし、殆どのお金を新しい視聴覚機器に使ってしまったら、伝道活動のために教会は何を用いたら良いのですか。」何と答えて良いか分からず、他の理事たちは牧師を見つめました。新しい機器が必要だと、彼らは思っていたのでした。一人の理事が言いました。「牧師先生、人々は望めば近くからやって来ることができます。教会に来たら、新しい機械の恩恵を受けられます。」

教会は、新しい視聴覚機器を教会のために購入しようと、その財源のほとんどを使うことになりました。その残りの年は、伝道活動に用いる費用はありませんでした。でも、正しい決断をしたと思われたので、だれも不平を言う人はいませんでした。教会員は減り続け、会衆の高齢化や、青年たちが礼拝に来なくなると教会員たちは口にし、不平を言い続けていました。それは、社会の世俗化のせいだとか、牧師の霊性の問題だとか、教区が教会のために何かしてくれるべきだとか、言っていました。

なぜ、教会はそのような買い物のために、財源のほとんどを使ってしまったのでしょうか。何が、教会の指導者たちに教会の使命とは違った決断をするようにしむけたのでしょうか。リバイバルや、改革、リテンション（在籍率の向上）、リクラメーション（失われた教会員の回復）を忘れてさせたのは、何だったのでしょうか。答えは、簡単です。その教会の文化です。

各個教会の文化は、次のように定義することができます。

「その教会が有する価値や信条体系で、決断、行動、また行動のあり方を促し、関係のあり方に影響を与える。」

各教会の文化は、日毎に教会がくだす決断を促し、その決断は教会の将来や運命を決定づけます。教会の文化は、私たちの人生のあり方であり、私たちの人生のあり方は、いつも私達と一緒にあるにも拘らず、それは私たちの意識に上らない所で働いて、自動的にそれに参加しています。教会の文化は、私たちが下す決断をするよう

に私たちを動かします。なぜなら、文化はそれが正しい決断だと命ずるからです。文化は普通隠れていて、その内側にいる人々には見えません。ちょうど、空気みたいに、無くなるまでは気付きません。

あなたの教会の文化は、あなたが今成し遂げようとしている結果を得るようにと、完璧にデザインされています。もし、あなたが自分の教会が成し遂げている、リバイバル、改革、リテンション、そしてリクラメーションに満足しているなら、その教会の文化を変えないで下さい。でも、多くの教会では、自分たちの教会が経験している現実を変えなくてはならない大きな必要にかられています。教会の文化が、行動や、行動習慣、そして関係を影響づけるよう動かしているのだから、違う結果を得たいと思うなら、その教会文化を変えねばなりません。

ここで、教会員の文化と、弟子作りの文化の違いを説明しましょう。後日の記事で、個教会の文化をいかに変えるかについては考えたいと思います。どうぞ、注意して2つの定義を学んで、違いを理解して下さい。注意していただきたいのは、存在の主要な理由は何であるか、教会生活の全体の目的は何か、そしてそれぞれの定義の終わりのボディランゲージの型は何かということです。

教会員モデル

教会員が教会の中心であり、存在する主要な理由です。文化、プログラム、礼拝、交わり、スチュワードシップ、施設、場所、その他は、すべて教会員を維持し、育てるためにあります。全体として、うまく行けば、教会とは十分に油がまわった機械です。

弟子作りモデル

神とその使命が教会の中心であり、その存在の主要な理由です。文化、プログラム、礼拝、交わり、スチュワードシップ、施設、場所、その他、すべては教会員を周囲の文化へ送り出し、人々を弟子とすることのためにあります。全体として、教会は生きた生物です。

これらの個教会の文化の違いが、どのように異なった結果を生み出すことになるかお分かりになるでしょうか。どちらが、神が教会にお求めになられたことを、より良く果たすことができるでしょうか。どちらが、より教会員を育て、教会に留め、教会に回復しやすいでしょうか。

私は、みなさんにご自分の教会理事会で話し合うために、この記事を用いていただけたらと願います。この記事の最初で触れた、教会が持っている殆ど全ての財産を使って視聴覚機器の購入を決断しようとしている理事会のことを考えてみて下さい。次の質問を話し合ってください。

1. 教会員モデルの下では、視聴覚機器の購入を討議する教会理事会には、何が正しい決断でしょうか。
2. 弟子作りモデルの下では、理事会の正しい決断は何だと思えますか。
3. この場合、あなたの教会ではどう決断するでしょうか。どちらの教会文化モデルがあなたの教会に近いでしょうか。教会員モデルですか、弟子作りモデルですか。
4. あなたの教会理事会では、最近のどんな決断をしましたか。それらは、弟子作り文化モデルで動いていましたか。
5. 弟子作り文化があなたの教会の決断を導くようにするには、どんなことに気をつけると良いでしょうか。

ご存知のようにコミュニケーションというものは、牧師の間でさえ必ずしも容易ではありません。2012年5月、支部主催リテンション計画セミナーが教区本部の台中（タイチウン）教会で開催されました。その時、台湾の教区では七つのモニタリング教会が選ばれました。北原（バイユアン）教会がそのモニタリング教会の一つに選ばれましたが、沙（しゃ）セレステ牧師はちょうどその教会に転勤して来たばかりのところでした。

沙牧師は、自分の教会がモニタリング教会であることを知ってはいましたが、当時その全体像を十分に理解していなかったと、後日、述べています。

NSDが提案しているリテンション計画は、2つの提案からなっています。1）メッセージ配布（毎週教会新聞を作り、霊的世話係が新しく受浸した信徒に配布する）、と2）小グループ活動の活用（小グループリーダーを養成し、小グループ活動を活性化）の2つです。支部は毎週、未完成の新聞を各国語で全てのモニタリング教会へ送ります。教会では、牧師やコーディネーターがそれを用いて自分の教会新聞を完成します。それを、受浸した新しいひとり一人の信徒を担当する霊的世話係（教友）が、最低1年間その新しい信徒に配布します。その1年の間に、新しい信徒は、小グループ活動に参加するように励まされ、その小グループに楽しく参加しながら、新しい霊的友人を見つけ、霊的養育や弟子訓練を受けることが出来るようになります。教会員の間で、積極的な霊的関係を築くことが、支部のリテンション計画の鍵です。

2014年に、もう一度彼女とインタビューをする機会がありました。その時、彼女の教会で胸躍るようなことが起こっているのを知りました。実際には、バイユアン教会では2011年から「生き生き弟子講座」を使って、リーダー訓練を始めました。しかし、沙牧師はそのプログラムを始めるととても大きな問題に出会ったのです。ほとんどの参加者は、毎日聖書を読む習慣がなかったのです。そこで、彼女はプログラムを一度やめ、参加者に聖書を読むことの重要性を理解させるために多くの時間を使ったのです。毎週

台湾、北原教会とのインタビュー (2014年7月24日)



の「生き生き弟子講座」は、個人的に聖書を読む経験を証しすることと取って代わりました。毎日、聖書を読まないで落ち着かなくなるまでは、講座を始めないというものでした。1年後、参加者全員が聖書を読む習慣が出来上がり、もっと材料が欲するようになったので、講座を再開しました。その時、同時に教会新聞を印刷し、あたらしく洗礼を受けた方たちに渡し始めました。2013年の終わりには、5名の信徒が「生き生き弟子講座」を終了しました。

2014年の1月から、4つの小グループが始まりました。多くの教会員の要望に応じて、四つのグループ全部が、毎週土曜日の午後集まり、それぞれ聖書の各書巻を学びます。教会の出席者数は約60名ですが、そのうち約40名が毎週安息日の午後、小グループを続けているのです。毎週、各グループはそれぞれのメンバーに聖書の各書巻の章や節を割り当てて、一週の間、その部分を読んで発見したことを小グループで分かち合うのです。それぞれの小グループが、2014年



7月現在、その調子でずっと、熱心に学びを続けてきました。牧師は、その間、「生き生き弟子講座」を使って新しい小グループのリーダーを訓練するため別の小グループの世話をしています。

過去3年間（2012-14年）の新しく受浸した信徒5人のうちのリテンション率は、100%です。その内、一人の信徒が病気で教会に出席で来ませんが、教会と密な連絡を取っています。その1年前、一人の受浸した信徒が教会に来なくなったので、前年のリテンション率は67%（3人の内2人）でした。

現在、教会牧師は一つの新しい問題にぶつかっています。どうやって、これらの小グループに、伝道の性格を持たせることができるだろうか、という課題です。殆どの教会員は教会で奉仕するのをいやがり、伝道活動に出て行こうとしないのです。聖書を熱心に学びたい人たちが、伝道に出て行きたくないというのはおかしいのではないのでしょうか。

小グループのメンバーに尋ねると良い、一つの質問をこの先生に提案してみました。「聖書の中に見出したばかりの、この素晴らしい神様の愛を伝えてあげたい人が、誰か皆さんの心に

いませんか。」家族の誰かかも知れませんが、あなたの友人、または仕事場での同僚かも知れません。誰でも、本当に気にしている人が、みんなの心に誰かいるはずですよ。そのような人の名前を、その小グループで分かち合い、その人のために、互いに祈りあうのです。それぞれの小グループのリーダーは、そのように互いのために祈りあうことによって、自分のグループを、伝道精神を持ったグループに導くことができます。

更にまた、長いこと教会に来ていない教会員のことを、彼らに考えてもらって下さい。かつては熱心な教会員であったかもしれない人が、何らかの理由で教会に来るのをやめてしまったのです。もし、誰かそのような人が教会にいることを知ったら、毎週、熱心にそのグループでその人のために祈りましょう。そして、その人がどうか、記録を取って下さい。その小グループで、誰か記録を取ることを出来る人を決めておく必要があります。その人を、そのグループの書記にしましょう。こうして、旧い教会員を呼び戻し、また教会員の在籍率を高めることができるようになります。

聖書を学ぶ、全ての教会員に一つの

提案をしたいと思います。聖書を読み、学ぼうとする時、次の質問をいつも心に覚えて下さい。質問：「今読んでいる、この聖書の言葉は次のことについて何を語っているでしょう：

- 1) 神について。その愛、義、ご性質について。
- 2) イエスについて、何をどのよう証ししているか。
- 3) 罪について。罪の性質、私たちがいかに罪深いのか。
- 4) 赦しについて。私の罪がいかに、確実に赦されているか。
- 5) 救いについて。救いをどのように語っているか。
- 6) 誰に。この良い知らせを誰に伝えたいか。

ところで、一月後、この沙牧師から一つのメールを頂きました。先週の安息日、その教会の多くの教会員が、長期欠席者を訪問するため出て行ったというのです。大きな喜びを知らせて下さいました。愛すべき、彼女の教会の信徒たちは成長し変化しているのです。ハレルヤ！何という良い牧師、良い教会員たち、良い教会でしょう！主を讃美せよ。



福井輝
リテンション
プロジェクト
コーディネーター
NSD支部

編集後記：

去る8月、リテンション・プラスの第1号を皆さまにお送りした時、何人かの方々から直ぐさま、ご返事を頂きました。

例えば、CHUM (Chinese Union Mission: 中国教団) の総務のダニエル・ジャオ先生は、自分たちのウェブサイトはこの記事を掲載して、多くの牧師や指導者がすぐに読んだり、ダウンロード出来るようにしたいと、書いて下さいました。多くの牧師や、リテンションの課題に関心を持っておられる方々が、これまでに大勢読み、利用して下さいていることを心から望んでいます。前回の、Retention Summit (沖縄) に世界総会からいらした2名の特別講師の内一人である、アンソニー・ケント先生は、これはとても良い出版物ですと言って来られました。多くの方が、支部の事務所に良い評価を送って下さり心から感謝しています。

今、第2号を皆さまにお送りします。どうぞ、リテンション・プラスへの皆さまの反応をお寄せください。デイビッド・リプリー先生と、ジュー・ミンホー両先生には、優れた寄稿を下さり本当に感謝します。多くの読者の皆さまが祝福され、愛する主に対する熱心な愛において教会と信徒を整えて、主のご来臨を早めることができますように。